

一般社団法人 医療サイバーセキュリティ協議会

# 令和 7 年度 活動報告書

および

# 令和 8 年度 事業計画書

Web 公開用

## 対象期間

令和 7 年度活動報告：2025 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日まで

令和 8 年度事業計画：2026 年 4 月 1 日から 2027 年 3 月 31 日まで

発行：2026 年 6 月（第 5 回定時社員総会資料に基づく公開版）

本書は、社員総会議案書、決算報告書、監査報告書および関連する事業計画資料を基に、Web 公開を前提として編集したものです。個別債権、役務報酬、未確定契約その他の内部管理情報は、公開目的に照らして要約または除外しています。

## 目次

---

1. はじめに
2. 令和7年度 活動報告
3. 令和7年度 決算概要
4. 令和7年度の課題と令和8年度への対応方針
5. 令和8年度 事業計画
6. 令和8年度 KPI・年間ロードマップ
7. 令和8年度 予算計画
8. おわりに

## 1. はじめに

一般社団法人医療サイバーセキュリティ協議会 (MedCSC) は、医療を利用する患者の安全と安心を実現するため、医療機関および医療関連ベンダーにおけるサイバーセキュリティリスクの実効的な低減を目的として活動しています。

令和7年度は、当協議会が「医療サイバーセキュリティの社会インフラ」へ進化するための基盤整備期間でした。京都大学との人材育成連携、JNSA 医療 IT WG への参画、HCARE シリーズの整備、厚生労働省関連事業への専門アドバイザー、地域実証フィールドの拡大など、次年度以降の全国展開に向けた土台を形成しました。

令和8年度は、この基盤を「収益化」「制度化」「全国展開」へ転換する年度と位置付けます。公益社団法人化の完遂と持続可能な収益基盤の確立を両輪とし、医療分野のサイバーセキュリティをコストではなく、国家・地域を支える戦略資産として定着させることを目指します。

### 公開版の編集方針

社員向け議案書の趣旨は維持しつつ、Web 掲載に適した表現へ整理しています。

財務数値は決算報告書および残高試算表との整合を優先しています。

未確定事項は「予定」「検討」「目標」として区分し、確定事項と混同しないようにしています。

## 2. 令和7年度活動報告

### 2.1 全体総括

令和7年度は、ナレッジ資産の形成と連携基盤の整備を中心に活動しました。定量 KPI の一部は未達となった一方、HCARE シリーズ、京都大学連携、JNSA 連携、厚生労働省関連事業での専門知見提供など、次年度以降の拡大に直結する基盤構築は着実に進捗しました。

### 2.2 主な活動実績

#### 京都大学との医療 DX・セキュリティ人材育成連携

京都大学医学研究科医療 DX 教育研究センターとの共同研究として、人材育成プログラムの開発を本格始動しました。MTO、医療情報統制士、Group A-D 人材を一気通貫で育成する体系を検討し、カリキュラム階層構造、共同研究計画、関西をフィールドとする実証体制、成果認証制度の枠組みを整理しました。

#### HCARE 2.0 およびインシデントシミュレータの整備

HCARE シリーズを、医療機関の自己診断、成熟度評価、インシデント対応訓練、人材成熟度評価を支える中核ツールとして体系化しました。令和8年3月5日には大津赤十字病院において、HCARE インシデントシミュレータを用いた訓練を実施しました。

## 厚生労働省関連事業への専門アドバイザー

厚生労働省「医療機関に対するサイバーセキュリティ対策支援事業」に対し、専門的知見を提供しました。医療現場に即した社会貢献型の支援を継続し、医療機関の実効的なリスク低減に貢献しました。

## JNSA 医療 IT WG への参画

令和 7 年 4 月に JNSA 特別会員となり、医療 IT WG への参画を開始しました。医療情報関連セキュリティガイドラインへの意見、医療情報学会との連携企画、CISO 支援 WG との情報交換等を通じ、業界横断の連携基盤を強化しました。

## 地域実証プロジェクトと HCARE 活用フィールド

但馬地域、筑波記念病院、京阪神地域、淀川キリスト教病院等を中心に、PoC、成熟度評価、BCP 訓練、地域 CSIRT 演習、HCARE シリーズ試用を進めました。

## セミナー・啓発活動

第 18 回医療サイバーセキュリティ協議会を開催し、医療セキュリティ人材育成、チェックリスト解説、AI 活用等をテーマに議論しました。また、HCARE シリーズを活用した体験型プログラムも実施しました。

## 公益社団法人化に向けた準備

令和 7 年 6 月の社員総会で公益社団法人化への移行方針を確認し、以降、内閣府との協議、事業類型の整理、収益事業比率の管理、事務局独立性確保の検討を継続しました。

## 2.3 KPI 達成状況（概要）

KPI 項目	計画	実績概要	評価
PoC 実施施設数	2 以上	但馬地域・筑波記念病院の 2 施設	達成
医療機関支援実績	10 施設以上	但馬 2 施設、筑波、大津、淀川試用等	一部達成
教育修了者数	100 名	プログラム開発期のため未達	未達
HCARE 評価実施数	15 施設	ツール整備を優先	未達
政策提言	2 本	厚労省・JNSA 経由で提言継続	一部達成
公益社団法人認定	令和 7 年度末	内閣府協議継続、令和 8 年度へ繰越	未達

## 3. 令和 7 年度 決算概要

令和 7 年度は、会費収入および事業収入を中心に経常収益 5,630,896 円を計上しました。一方、HCARE 開発、人材育成プログラム設計、連携基盤整備等の先行投資により、当期正味財産増減額は △235,097 円となりました。

科目	金額	概要
経常収益	5,630,896 円	受取会費・監修料収益・受託収益・受取利息
経常費用	5,865,993 円	委託費、通信費、支払手数料等
当期正味財産増減額	△235,097 円	先行投資・会費未達等による
正味財産期首残高	172,429 円	前期繰越
正味財産期末残高	△62,668 円	令和 8 年度での黒字回復を計画
資産の部合計	3,919,439 円	現金及び預金、売掛金、未収入金
負債の部合計	3,982,107 円	未払金、未払費用、未払法人税等、前受収益

監事による監査では、事業報告および計算書類について、法令および定款に従い当法人の状況、財産および損益の状況を重要な点において適正に表示している旨の報告を受けています。

## 4. 令和 7 年度の課題と令和 8 年度への対応方針

### 収益化モデルの具体化

HCARE シリーズ、教育・認定、医療機関支援を持続的収益へ転換する仕組みを令和 8 年度に整備します。

### 会員エコシステムの活性化

会員向け勉強会、WG、会員ポータル等を通じ、会員価値の見える化と協業機会の創出を進めます。

### KPI モニタリングの強化

セミナー参加者数、HCARE 評価件数、Web PV 等を月次で把握し、理事会・事務局による継続改善に活用します。

### 公益社団法人化の完遂

令和 8 年度上半期の公益認定取得を最優先課題とし、認定後の寄付・協賛、公益目的事業の管理体制を強化します。

### 全国展開に向けた運営体制整備

関西・筑波等で得た知見を全国へ展開し、医療機関、医療関連ベンダー、学会、行政との連携を段階的に広げます。

## 5. 令和 8 年度 事業計画

### 5.1 基本方針

令和 8 年度は、「公益社団法人化の完遂」と「持続可能な収益基盤の確立」を両輪に、令和 7 年度に形成した基盤を実装・拡大する年度とします。重点テーマは、厚生労働科学研究との連携深化を通じ

た医療サイバー人材の育成・輩出、および医療 AX/DX 時代に対応したセキュリティ・ガバナンス改革の支援です。

## 5.2 5つの戦略軸

### 1. 公益社団法人化の完遂

公益認定取得、公益目的事業の管理、寄付・協賛基盤の整備を進めます。

### 2. HCARE シリーズの利用拡大と収益化

会員向けライセンス、非会員医療機関向け評価、教育・訓練用途での展開を進めます。

### 3. 京都大学連携プログラムの実装

PILOT 受講生を確保し、修了認定の初回発行を目指します。

### 4. 会員エコシステムの活性化と拡大

A 会員・B 会員の拡大、会員向け勉強会、WG 活動、会員企業との協業を強化します。

### 5. 政策提言・制度化の加速

MTO、医療情報統制士、医療情報ガイドライン等に関する提言・制度設計を進めます。

## 5.3 主要事業計画

### 教育・人材育成事業

- 京大連携 PILOT の開講
- MTO 候補および Group A-D 人材の育成
- Healthcare Security Associate 等の修了認定発行
- HCARE シリーズと教育コンテンツの連携

### 医療機関支援事業

- HCARE 成熟度評価の実施
- 但馬・筑波・関西広域等での PoC 継続
- インシデントシミュレータ訓練の全国展開
- 登録セキスへの医療機関派遣に向けた医療知見教育とマッチング体制整備

### 制度提言・標準化事業

- MTO 制度に関する提言書の提出
- 医療情報統制士（仮称）の制度設計案公表
- JNSA 連携教材の共通化
- 医療情報ガイドライン等への意見提出

### 啓発・コミュニケーション事業

- 年 4 回のセミナー開催
- HCARE シリーズの講演・デモ展開
- AI インシデントシミュレータ PR 動画の公開
- 年次成果報告書の Web/PDF 公開

## データレイクハウス基盤事業の検討

- HCARE 評価データ、セキュリティログ、SBOM、BCP、インシデント対応支援を統合する基盤のβ開発
- 会員企業との協業による機能検証
- 医療機関のガバナンス強化と人材育成への実データ活用

## 6. 令和 8 年度 KPI年間ロードマップ

### 6.1 KPI 目標

KPI	目標値	達成戦略
会員数 (A 会員)	10 法人以上 (純増)	医療機関への価値訴求・退会防止
会員数 (B 会員)	30 社以上 (純増)	医療系ベンダー・SaMD・PHR 領域への拡大
教育修了者数	100 名以上	MTO 候補 10 名、Group A-D 90 名
PoC 実施施設数	5 施設以上	但馬・筑波・関西広域の継続と新規開拓
HCARE 評価実施数	15 施設以上	会員経由を含む導入支援
セミナー参加者数	延べ 500 名以上	年 4 回開催とオンライン配信
政策提言	3 本以上	MTO、医療情報統制士、ガイドライン
教材共通化	3 教材以上	JNSA 連携教材の完成
Web 月間 PV	3,000PV 以上	会員ポータル整備と発信強化
公益認定	Q2 中の取得目標	公益社団法人化手続の完遂

### 6.2 年間ロードマップ

四半期	主な活動	成果物・指標
Q1 (4-6 月)	公益認定書類最終調整、HCARE ライセンス制度設計、京大 PILOT 受講生募集	認定申請完遂、制度 Ver.1、受講生確定
Q2 (7-9 月)	公益認定取得、京大 PILOT 開講、PoC・インシデント訓練の実施	認定済法人として再出発、初回演習の実施
Q3 (10-12 月)	中間評価、MTO 提言書提出、医療情報統制士白書発行	提言書・白書の公開
Q4 (1-3 月)	修了認定発行、成果報告書発行、第 6 期計画策定	修了者輩出、年次成果の公開

## 7. 令和8年度 予算計画

令和8年度は、収入10,200,000円、支出9,735,000円、差引+465,000円の黒字化を計画します。第4期末の正味財産△62,668円から、期末時点で+402,332円への回復を目標とします。

### 7.1 収入予算

科目	金額
A 会員 会費収入	1,000,000 円
B 会員 会費収入	3,000,000 円
HCARE ライセンス等	1,500,000 円
教育・認定事業	1,000,000 円
医療機関支援事業	1,500,000 円
厚労省・公的連携事業	1,500,000 円
寄付・協賛収入	500,000 円
セミナー参加費	200,000 円
<b>収入合計</b>	<b>10,200,000 円</b>

### 7.2 支出予算

区分	金額	主な内訳
法人運営費	3,845,000 円	常任理事役務工数、経理 660,000 円、税理士 165,000 円、住民税 70,000 円、事務支援等
教育・人材育成事業費	2,100,000 円	京大共同研究、PILOT 講師謝金・教材、認証システム運用
医療機関支援事業費	1,600,000 円	PoC 実施費、HCARE 運用・改善費
啓発・コミュニケーション費	1,200,000 円	セミナー、講演者謝金、動画・広報物制作
公益認定対応費	400,000 円	申請関連費用、所在地・事務所整備
租税公課・支払手数料等	490,000 円	前期実績水準
雑費	100,000 円	予備
<b>支出合計</b>	<b>9,735,000 円</b>	<b>前期実績比 +66.4%</b>

## 7.3 損益サマリー

項目	金額	補足
収入合計	10,200,000 円	
支出合計	9,735,000 円	
差引 (当期純利益見込)	+465,000 円	
正味財産回復見込	+402,332 円	第 4 期末△62,668 円からの回復見込

## 8. おわりに

医療分野のサイバーセキュリティは、病院経営、地域医療、医療 DX、そして患者安全を支える不可欠な基盤です。MedCSC は、医療機関、医療関連ベンダー、学会、行政、地域団体との連携を通じ、実務に根ざした人材育成、評価、訓練、政策提言を進めてまいります。

令和 8 年度は、公益社団法人化の完遂と収益基盤の確立を実現し、HCARE シリーズと人材育成プログラムを中核として、医療サイバーセキュリティを「国家・地域を支える戦略資産」へと高める一年とします。

### お問い合わせ

一般社団法人 医療サイバーセキュリティ協議会 (MedCSC)

Web : <https://medcsc.org/>

本書は Web 公開用の活動報告・事業計画書です。詳細な会計書類および公告は、法人の公開方針に従い別途掲載します。